



よもやま話に花が咲く。えきんぐらがお届けする小ネタ袋。

蔵通信 三二号

2012.11



第三十一話 降り積る哀しみ

絵金百話

シリトズ

発行：絵金蔵運営委員会
発行日：2012年11月1日
〒781-5310
高知県香南市赤岡町538
Tel.Fax 0887-57-7117
ekingura@mxi.netwave.or.jp
http://www.ekingura.com/



INFORMATION

香南市絵金生誕
200年記念事業
極彩の闇

語り継ぐ絵金の物語 —阿波デコ廻しと土佐の芸能

絵金が活躍した時代、民衆の間では歌舞伎に代表されるような舞台で行われる芝居だけでなく、町や家々の庭先や様々な場所で、物語りを伴う芸能が盛んに行われました。祈りや遊びを含んだこうした文化が育まれ、絵金の芝居絵屏風が生まれる土壌となりました。この度、絵金が描いた物語を芝居小屋「弁天座」にて伝統芸能でご紹介いたします。

日程：平成24年（2012）**11月30日（金）**
時間：開場午後6時 開演午後6時半 終了は午後8時40分頃予定
会場：**弁天座**（香南市赤岡町）
出演：手結盆踊り保存会（予定）、阿波木偶箱廻しを復活する会
高知市安楽寺住職・小角隆幸氏
入場料：前売り1,000円 当日1,200円
定員等：200名 全席自由
主催：絵金蔵運営委員会・香南市絵金生誕200年記念事業実行委員会

【チケット販売・お申込】
絵金蔵まで直接お越しいただくか、電話・ファックス・Eメールにてお申込み下さい。
Tel/fax 0887-57-7117
E-mail: ekingura@mxi.netwave.or.jp



昔は未来の

冬の夏祭り 12月1日（土）・2日（日）



香南市赤岡町商店街にて

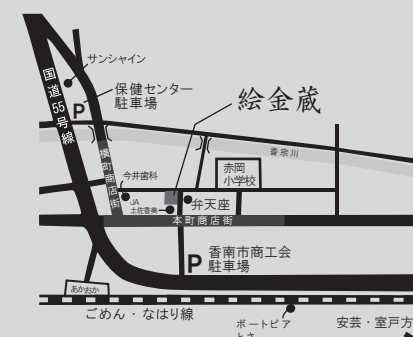
☆ 臨時休館のお知らせ ☆

平成24年 **12月18日（火）** ～ 平成25年 **2月28日（木）**

施設改修工事のため、上記の日程で臨時休館いたします。長期にわたりご迷惑をおかけいたしますが、どうかご了承くださいませよう、お願いいたします。※12/17（月）も通常通り休館日します。

【絵金蔵】

開館時間
午前9時～午後5時
(入館は午後4時半まで)
観覧料
大人500円 高校生300円
小・中学生150円
(15名以上の団体は各50円引き)
休館日
毎週月曜日
(月曜が祝日の場合は火曜)
12月29日～1月3日



幕末土佐の芝居絵師・金蔵（通称・絵金）。彼は土佐各地の祭礼に多くの芝居絵屏風を残しました。絵金蔵は、平成17年2月、赤岡の地に残る23点の芝居絵屏風を収蔵・保存するために作られた施設です。

絵金蔵の三つの使命

：縁結び
：地域を超えて
：世代を超えて
：伝承の世代へ
：伝えるため
：年に一度
：絵金の文化を
：守るため

絵金百話

第三十一話 降り積る哀しみ

ゆらのみなとせんげんちょうじゃ さんしょうだゆうやしき
由良湊千軒長者 三莊太夫屋敷

＜ 概 要 ＞

『由良湊千軒長者』は宝暦11年(1761)5月、大阪・竹本座で時代物の人形浄瑠璃として初演されました。竹田小出雲・近松半二・三好松洛・竹本三郎兵衛・北窓後一・二歩軒による合作で、享保12年（1727）初演の竹田出雲作『三莊太夫五人嫌』を下敷きとしています。悲運の姉弟、安寿・つし王丸伝説を語る古浄瑠璃『さんせう太夫』を題材としており、同じ題材の人形浄瑠璃作品として他にも『山椒太夫恋慕湊』『山椒太夫葭原雀』等が挙げられますが、現代において上演されるのは本作だけとなっています。

奥州54郡の領主・岩木判官政氏は岩木家領地を狙う大江時廉によって暗殺されます。お家再興のため岩木家家臣山岡権六は人買いとなり、主人の妻子とも知らず国許を追われた政氏の妻を佐渡島へ、遺児・安寿・対王丸を三莊太夫の屋敷に売ってしまいました。三莊太夫は政氏に直接手を下した褒美として、由良を含む丹後の三莊を領有し、二人に慣れない過酷な仕事をさせたうえ、連日折檻しています。父の悪逆非道な行いの祟りにより、毎朝鶏のように鳴いてしまう三莊太夫の娘・おさんは、二人の行方を探す岩木家家臣・元吉要之助に以前から恋慕しており、おさんの母も婿入りを求めます。しかし三庄太夫に正体を見破られた要之助と安寿・対王丸は捕えられ、雪の降る中で拷問を受けます。要之助と争うなか、幼い頃に捨てた我が子だと気付いた三莊太夫は悪人から一転、わが身を悔い自害し果てました。その後一同は大江を討ち仇を取る、という内容です。

現代でも童話などで広く知られる安寿・つし王丸伝説ですが、ここでは悪の限りを尽くした三莊太夫がその報いを受けるという因果応報譚や、おさんと要之助という兄妹の叶わぬ恋模様 に重点が置かれ、舞台ではおさんが鶏に早替わりする「鶏娘」の演出が女形芸の見せ場となりました。

今回ご紹介するのは香南市野市町に伝えられた作品です。三莊太夫が姉弟を折檻する場面、一人毛皮をまとい、狂気を含んだ表情で火箸を振り上げる太夫、逃れようともがく二人の間に降りしきる雪…、残酷な場面ですが、芝居の中ではこの二人が過酷な運命を乗り越えることを、本作が描かれた当時の土佐の人々は知っていたのでしょう。

今回も物語とともに、どうぞお楽しみください。

再び、絵金展を

― 高知県立美術館「絵師・金蔵生誕二〇〇年記念

大絵金展 極彩の闇」―

高知県立美術館学芸員 後藤雅子

高 知県立美術館では、幅広い文化芸術に触れていた
だくため、様々な展覧会やホール事業などを開催
している。そのなかでも高知ゆかりの作家・作品について
紹介することは、高知県立美術館だからこそ重要な役割
である。絵金についてもコレクション展や企画展など折々
で展示しており、一九九六年には開館三周年記念として企
画展「絵金展 土佐の芝居絵と絵師金蔵」を行った。
そして二〇一二年、前回の絵金展から十六年を経て、企
画展「絵師・金蔵生誕二〇〇年記念 大絵金展 極彩の
闇」を開催する。

開館以来、展覧会などで郷土作家も順次ご紹介している
が、同じテーマの企画展を再度行うことは決して多くは
ない。開館十周年の年から勤めはじめた私にとって、絵
金の企画展はやりたい展覧会でありながら、かなわぬ可
能性もあるものだった。実際、何度か企画をあげて「す
でに開催している」ということでボツになっている。
その間、二〇〇五年に絵金蔵さんが開館し、二〇〇九年
に赤岡町の芝居絵屏風二十三点が高知県文化財指定と
なった。新たに確認された作品もある。毎年夏が近づくと、「エキンについて知りたい」「エキンを見たい」と雲
をつかむような心持ちの相談が美術館に舞い込んだもの
だが、絵金蔵さんができてから次第に減っていった。毎
年路上解説をさせていただいている土佐赤岡絵金祭りでは、芝居絵屏風をみるために、来られている方が年々増
えている様子が肌身に感じられる。絵金蔵さんの活動は
同業者としてとても頼もしく、一人の絵金ファンとして
うれしく思う存在だ。

本年「もう一度絵金展
を開催しよう」と、あ
らためて当館で絵金展
を開催できることと
なったのは、生誕
二〇〇年という節目
の年ということだけ
でなく、絵金が全国的に注目される機会が増え、
高知の大切な文化として次世代に伝えゆくべきもの
であることを再認識される機運が高まったことが大
きいであろう。

また、絵金の研究をしていくと先人の調査・研究が
いかに大きく網羅されたものであったかを思い知る。
しかし、それらがまだ大きくは知られていない部分
もあるのではないか。
今にまで地域の人々が大切に受け継ぎ、地道な研究
が行われてきた「絵金」を広く紹介する。土佐では
今も昔も「絵を観る」「絵と共にあることを愉し
んでいる」「ことを一人でも多くの方々に知ってい
ただく。……
足りないところも多々あろうが、いつか絵金を守り
伝えていくいしずえとなることを目指し、二〇一二
年の高知県立美術館で二回目の絵金の企画展「大絵
金展 極彩の闇」を開催する。この展覧会がご協力
いただいた絵金さんを愛する方々へのお礼となり、
絵金文化をつないでいくひとかけら
となることを願っている。

高知県立美術館 絵師・金蔵 生誕200年 記念

大絵金の極彩の闇

主催◎高知県立美術館 KUTVテレビ高知
後援◎高知県教育委員会・高知市教育委員会・高知新聞社・NHK高知
放送局・KCB高知ケーブルテレビ・エフエム高知・高知シブFM放送
協力◎香南市絵金生誕200年記念事業実行委員会
助成◎平成24年度文化庁文化芸術振興費補助金（文化遺産を活化した
観光振興・地域活性化事業）、美術館連絡協議会

2012年 10月28日「日」～12月16日「日」
午前9時より午後5時まで（入場は午後4時30分まで）
※高知県立美術館開館記念日11月3日は全館無料と夜間開館（午後8時まで）
会期中無休
一般前売650円・一般当日850円（650円）
大学生当日550円（450円）・高校生以下無料
※（一）内は20歳以上の団体料金 ※年間観覧券（2500円）所持者は無料
※高知県及び高知市長寿手帳所持者は無料 ※身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳
戦傷病者手帳の持主及び戦傷病者健康手帳所持者とその介護者1名は無料

はじめ土佐藩御用絵師、のちに放浪、町の絵師

11/3

9:00-20:00 OPEN
夜間開館+入館無料
高知県立美術館開館記念日
朝から夜まで、「大絵金展」・「高知の戦
後美術と前衛土佐派」・「シャガール・コ
レクション展」・その他記念イベントが全て
無料でお楽しみいただけます。

必見！同時期開催の絵金関連展
《香美市立美術館》11月10日（土）～12月16日（日）
絵金とその時代展 館からの伝承
《絵金展》7月24日（火）～2013年3月31日（日）
コーナー展 絵金—200年の想い—

物語のバトン

『さんせう太夫』から
『山椒太夫』へ

中世

古浄瑠璃（説経）
『さんせう太夫』

さんせう太夫とその息子の虐待が続
き、二人の姉弟の顔に焼金が当てられ
るが、つし王丸の守り本尊地藏菩薩が
身代わりとなって助かる。安寿はつし
王を逃がしたため、火責め水責めの拷
問にあったあげく殺害されてしまう。
つし王は地藏の功德によって京に上
り、所領を安堵される。無事丹後に戻っ
たつし王はさんせう太夫を召し、竹鋸
でその息子に首を引かせて仇を討ち、
父母との再会も果たす。

安寿と厨子王の物語は古くからの伝説、
中世末期には古浄瑠璃『さんせう太夫』、江戸時代中期には
『由良湊千軒長者』、大正時代には森鷗外の小説『山椒太夫』と、
少しずつ姿を変えながら、民衆の間で語り継がれて
きました。時代を映す物語の移り
変わりをご紹介します。

近代

小説
『山椒太夫』

安寿が厨子王を逃がしたあと、池
の近くで安寿の履物が見つかった
ことで入水を暗示する。残酷な場
面は少ない。丹後に国司として赴
任した厨子王は人の売り買いを禁
ずる。山椒太夫は奴隷を解放して
給料を払うようになるが、ますま
す栄える。厨子王が佐渡で母を見
つけると、見えなかった母の目が
開く。

人形浄瑠璃
『由良湊千軒長者』

三莊太夫は苛烈であるが残酷さは
和らぎ、安寿を拷問の末殺してし
まう場面はない。三莊太夫は自らの
悪逆は息子を捨てた後悔のあま
りと語り、最後には善人となる。
父の悪逆の報いで娘が鶏の姿とな
る鶏娘の演出が加えられ、実の兄
とも知らず一途に恋い慕う哀れな
女心が描かれる。

参考文献

『新日本古典文学大系 90 古浄瑠璃説経集』岩波書店 1999年12月

『日本戯曲全集 第26巻 續義太夫狂言時代物集』春陽堂 1931年7月

『現代日本文学館1 森鷗外』文芸春秋 1967年2月

近世



もう一つの
由良湊千軒長者

次ページの芝居絵屏風の前段、雪の降る中、
潮を汲もうとする安寿のもとを通りかかる対王丸、
弟を助け共に柴を刈ろうという安寿に、対王は、
「コレ姉様、わしと一緒に山へ行て、お前の汐は誰が
汲みます。人に汲んでもらうてさへ、打ち打擲の棒三昧。
…サアサアわたしも共に汐汲まう。」と励まします。

二人の後ろには旅装束で2人を
捜す元吉要之助。上部の遠景には、
三莊太夫の娘・おさんが、安寿や対王丸を
哀れに思い、作業の遅滞を心配しながら、
遠眼鏡で見る様子が描かれています。

二曲一隻屏風 / 紙本着色 / 146.0×130.6 cm
香美市・個人蔵



この作品は香美市土佐山田町・八王子宮の夏祭りで飾られる5点のうちの
一つ（展示は現在不定期）。「手長足長絵馬台」と呼ばれる神社の拝殿風の大き
な絵馬台の中央にはめ込まれ、暗闇の中遠くから見ると、全体が豪華な
燈籠のように見えます。この秋は間近で見られる貴重なチャンス、高知県
立美術館で、ぜひご覧あれ！

『絵師・金蔵 生誕 200 年記念
大絵展 極彩の闇』出品作品
主催：高知県立美術館
2012年10月28日～12月16日



アップしてご紹介します。

特別講演 山内 豊功氏

「現代に通じる赤岡の先人の知恵」(要約)

赤岡にも本店を持つ菓匠西川屋で最近発見された古文書「大変附」
には安政元年（1854）に起きた安政大地震の際の赤岡周辺の人々
の様子が記されています。地震が起きると、町の人々はすぐさま北
へ、近くを流れる香宗川の橋は落ちていましたが、川を歩いて渡っ
て高台を目指しました。高台についてから、町に津波が
押し寄せるのが見えたそうです。それからは余震が
続くなか、竹藪に身を寄せ、雨の折は大きな屋敷で
雨宿りし、その後もすぐには家に帰らず赤岡最大
の寺・予楽寺の境内に仮住まいしました。
また地震の翌日、町のあちこちに高札が立てられ、
盗賊取締りが行われたおかげで、赤岡には盗賊が
全く出なかったようです。私たちの先人である
赤岡の商家の人々は知恵と力を合わせ、大地震
を乗り越えました。歴史資料からうかがえる知恵、
教訓は、今日の社会にも大いに役立つのではないで
しょうか。

RKC 高知放送アナウンサー・
井上琢己さん。司会に、役者
にと大忙し。祝賀会では、
土佐の妖怪「しばてん」に
変身！



土佐絵金歌舞伎伝承会
新絵金伝説

一時を超え、絵金さん
や、お殿様と会うの段ー



お城下を追われ、赤岡にたどり着いた絵金（左）と
赤岡の廻船問屋に嫁いだ絵金のおば（右）。
絵金役は土佐絵金歌舞伎の人気役者・JA 勤務の竹村
さん。おば役は只今人気急上昇中の香南市勤務・林
さんです。

土佐藩家老桐間家の御用絵師として
活躍する絵金が町絵師となるまでを
描いた物語。絵師・角山応観の企みで
贋絵を描いた疑いを持たれた絵金。大
目付の前で毅然と申し開きをします
が、応観の入れ知恵により家老に暇を
言い渡されてしまいます。各地を5年
ほど放浪した絵金は赤岡のお婆のも
とにたどり着き、土蔵暮らしをはじめ
ます。しかし、はからずも一部始終を
見ていた絵金の味方がいたのです。

それは平成の世からきた赤岡の住
人達。大目付に携帯電話に録音した
応観の企みを聞かせ、絵金の無実が
明らかに。客席から花道に飛び出し
た、絵金を救うサムライたちの登場
に会場は大いに盛り上がりました。
贋作事件の真相はさておき、赤岡の
人々の思いは空の向こうの絵金さ
んに通じたのではないのでしょうか。



記念式典開催

香南市絵金生誕二〇〇年記念事業―極彩の闇―



祝賀会で披露された
料亭「濱長」の華やかな踊り。



助っ人に駆けつけてくれた大学生たち。
日頃から地域の活動に興味を持ってく
れています。当日は会場準備や案内係、
お茶子さんとしても大活躍でした。



由良湊千軒長者 三莊太夫屋敷

二曲一隻屏風/紙本着色/137.5×119.0cm
香南市・団体蔵

— あらすじ —

強欲な三莊太夫は、お尋ねものの岩木判官政氏の子供・安寿と対王丸の絵姿を見て、下人として使っている信夫・忘れ草の姉弟だと気付く。

安寿と対王丸の行方を捜す岩木家家臣・元吉要之助は、冤罪で見咎められ、太夫の屋敷へ連行される。父・三莊太夫の悪行の報いで鶏娘と呼ばれるようになった娘・おさんは、実の兄とは知らず、要之助に想いを寄せていた。母親は親心からせめて好きな男と祝言をあげさせたいと訴え、要之介は引き受けるが、太夫は要之助を罪人として殺そうとする。

その時屋敷に岩木家家臣・山岡権六が到着、主殺しの犯人である三莊太夫に首を差し出すよう言い渡す。女房・渚は明け方までの猶予を乞い、許される。自らの首を差し出すまでに安寿・対王丸と要之介らの詮議をと苛立つ太夫。おさんは要之助を助けたい一心で、時刻が知れないよう屋敷の鶏を鳴かせまいと追う内に自らが羽ばたき、鳴いてしまう。

太夫は雪の降りしきる極寒のなか、安寿と対王丸、要之助を拷問する。明六つの鐘を聞いた時、まず要之助に斬りつけるが刃が外れ斬り合いとなる。要之介が太夫に手傷を負わせ懐刀を出すと、それを見た太夫は自分の腹に刃を突き立てる。

驚く人々に太夫は、その懐刀により要之介が昔捨てた我が子であることが判明したと明かし、娘が鶏のようになったことや捜し続けた息子と争うのも全て自分の行いの所為だと悔やみ、自害を遂げる。

■ 火鉢にくべたる焼鐵、死太いうぬらが、どてッ腹へ。

苛立ち激しく折檻する三莊太夫。正体を白状しない三人に今まさに焼火箸を当てようとしています。「先刻から様々と詞を盡し、会釈して聞かせても、聞き入れぬ小びつちよめら。吐かきぬからはこの焼鐵、背骨をかけてたつた一刺し、それでも云はぬか！」

子ゆえの闇 —父の悲しみ—

三莊太夫が悪逆非道になったのは、実は要之助を生まれた奥州に捨てた後悔からでした。太夫のように、悪人がある動機から善人に立ち戻ることを、歌舞伎や人形浄瑠璃の演出・演技用語で「もどり」と呼びます。この後太夫は、主人殺しの罪を犯した悪人は竹鋸で引かれるのが掟であると言い、庭の竹樋を取り、自らの首を切る壮絶な最期を遂げました。

何卒汝を尋ね出し、共に榮耀にあらせんと、子ゆえの欲に眼もくらみ、時廉に頼まれ、手に掛けじ岩木どのは、可愛いと思う我が子の御主人。すりやこの親は主殺し。我が首取って大恩の、主君へせめて忠義にせよ。

伝説の里

～京都府宮津市由良～

現在も由良の地名が残る地域には、三莊太夫のもとから逃亡を図った姉弟が、太夫から焼印を押されようとした際、身代わりになったという仏師快慶作地藏菩薩像が残されています。通称・金焼地藏、府指定文化財となり、京都府宮津市由良・如意寺にて今も信仰を集めています。

■ 少しも早く成敗あれ！

拷問を繰り返す太夫にたまりかね、早く殺せという要之介。しかし斬りつけた太夫の刃が外れると、反対に立ち回って斬り返し、とどめを刺そうと出した懐剣を出したところから、物語は意外な結末に…。



■ イエわたしを。

痛みや寒さに屈せず、身分を明かさない安寿。弟の健気な言葉に「年端も行かぬ其方の真実な心から、姉を助けんどの心ざし。申しお主様、わたしは女の事、どうぞ弟をお助けなされて、わたしを殺して下さりませ。」

■ 必ず啼いてたもんなや。

太夫の屋敷では、おさんの鳴き声を紛らわすため、鶏がたくさん飼われていました。恋しい要之介が暁と共に処罰されると知り、必死で鳴こうとする鶏を追いなだめますが、おさん自身がとうとう鳴き声をあげてしまいます。池の水に映る姿から真実を知ったおさんは喉を突き、自害してしまうのです。



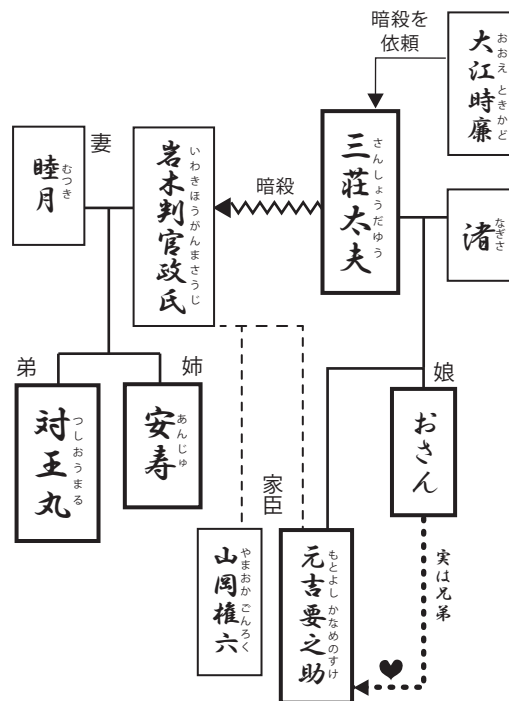
■ 私を殺して姉様を、お助けなされて下さりませ。

「寒くばキリキリ云うてしまへ。岩木の餓鬼めらであらうがな！」と執拗に責める太夫に、寒さと恐怖にうち震えながらもじっと耐え、姉をかばう対王丸。

物語る小道具 ～ 柴と水桶 ～

安寿に汐汲み、対王丸に柴刈りの仕事を与えた三莊太夫の不慣れな作業に時間がかかっても打擲、達成できても仕事量を増やし、二人を追いつめます。

由良湊千軒長者 主要登場人物



折しも降り来る大雪に
八寒地獄呵責の責め、中に立つたる
太夫が獄卒、傍にあぶあぶ要が
身もだへ…